

(午前) 蝶の標本づくり (午後) クワガタムシの標本づくり

8月3日(木) 10:00~11:30 / 13:00~14:30

★ 参加人数 (午前) 子ども15名、大人11名 (午後) 子ども11名、大人8名

1. 蝶の標本づくり

(お話し) ・蝶の捕り方、道具の説明

- ・蝶の好む食卓、食樹の説明
- ・きれいな昆虫、絶滅危惧種、外来昆虫の話
- ・標本の意義と保存方法の説明

(体験) 蝶の標本づくり

(参加者の様子)

- ・昆虫の中でも蝶の仲間を好きな子どもが多く、蝶に関する問いかけにも積極的に反応していた。
- ・展翅(羽根を広げる)の際に苦戦する子がいた。
- ・展示用蝶類等の標本を講座終了後も熱心に見ていた。
- ・講師との虫の話をとても楽しんでいた。



2. ノコギリクワガタの標本づくり

(お話し) <ビオトープ・ネットワーク中部 宇野講師>

- ・コウチュウ類(カブトムシやクワガタムシ)の捕り方と道具の説明
- ・昆虫ごとに異なる食べ物や生息場所の違いの説明
- ・きれいな昆虫・絶滅危惧種・外来昆虫の説明
- ・標本作製の意義と保存方法の説明

(体験) ノコギリクワガタ(甲虫類)の標本づくり

(参加者の様子)

- ・昆虫が好きな子どもが多く、質問が沢山出た。
- ・飼育していたが死んでしまったカブトムシを持参。カブトムシの標本づくりも行った。



3. 参加者の声

- 小2・3・5 初めてやりました。楽しかったです。緊張した。
- 小1 待ち針をクロスに打つのが難しかった。
- 小4 標本にするクワガタ虫が臭かった。
- 小1 きれいに出来て良かった。
- 小2・6 袋から出したクワガタ虫は、臭かった。魚臭かった。
- 年中 初めての体験だった。自分で作ることが出来て嬉しい。
- 大人 標本は、昆虫の分布を検証するために重要な証拠となる。例えば、名古屋市にはカブトムシの標本が無い。いたはずだが、いたという証拠がないことが分かった。最近の温暖化現象で、昆虫の分布も変化していると思うが、これを検証できるのが標本であるとよく理解できた。

